

## 入学おめでとう 浪江中学校

浪江中学校の入学式が4月6日、二本松市の仮校舎体育館で行われました。

新入生誓いのことばでは、これから始まる中学校生活へ期待に胸をふくらませ3年間の抱負を元気よく述べました。

式では、平成28年度3年生の生徒が作詞したものに、音楽科教諭が曲をつけたオリジナル合唱曲「未来の光へ」のCD・DVDが町へ寄贈されました。



## 卒業おめでとう 浪江小学校・津島小学校

浪江小学校および津島小学校の修・卒業証書授与式が3月23日、二本松市の仮校舎で行われました。

今年度の卒業生2名は、目標に向かって頑張りたいと夢の実現を誓い学び舎をあとにしました。

また、卒業生からの記念品として、浪江町の思い出や名物・方言を使って歌詞にした歌「んだげんちょ」をダンスにしたDVDが町へ寄贈されました。



## 小中学校教職員 離任式・着任式が 行われました

小中学校教職員の離任式および着任式が、役場二本松事務所で行われました。現在、小学校は浪江小学校と津島小学校の2校、中学校は浪江中学校1校が二本松市内で再開していますが、その他町内にあった小学校4校と中学校2校は休業中です。本町の多くの子どもたちは全国各地の学校に通っていますが、離ればなれになっても子どもたちとの繋がりや絆を大切に、本年度も子どもたちと保護者の気持ちに寄り添った教育に取り組んでまいります。



小中学校教職員離任式 3月28日



小中学校教職員着任式 4月3日



## JR常磐線浪江駅 —小高駅間の運転が 再開されました

浪江駅にて4月1日、JR常磐線の運転再開出発式および運転再開式が開催されました。

町長と高木原子力災害現地対策本部長や福島県副知事などの来賓の方を乗せた電車が、10時12分に浪江駅へ到着し、その後、駅長とともに町長が出発進行の合図を行いました。

また、来場記念として、切り花やJRグッズ、紅白もちがプレゼントされました。

## 情報発信・交流プロジェクト推進会議が開催されました

内閣府原子力被災者生活支援チームでは、浪江町の復興を推し進めるためのアイデアや、町の魅力を高め、町外へ発信・交流を行う手法などについて、町の復興に取り組む方々や民間企業等を中心に、自由闊達な議論を行うため「浪江町情報発信・交流プロジェクト推進会議」を立ち上げました。



自由な発想で「まちづくり」のアイデアを出す

3月18日、第1回となる推進会議が役場二本松事務所で開催され、高木原子力災害現地対策本部長をはじめ復興庁、経産省などの関係省庁、福島県関係局および町民有志からなるなみえクリエイティブ会、民間企業からは株式会社福島ガイナックス、株式会社電通など約50人が各々アイデアを持ち寄り意見交換が行われました。

会議では、なみえクリエイティブ会から「町民自身のアイデア」でまちづくりすることを目標に、「飲食店街復活チャレンジ」について、「国や県と協力しながら実現していきたい」と力強い発表がありました。



町長は「町民が町に戻りたいと思えるような、魅力あるまちづくりを」と挨拶  
なみえクリエイティブ会による「なみえクリエイティブプロジェクト」の発表の様子

## 酒田の跨道橋が 完成しました

酒田地区で行われていた拡幅工事が終了し跨道橋が完成しました。

4月1日、酒田行政区の皆さんがその完成を祝い、町長、高木原子力災害現地対策本部長、吉田町議会議長とともに記念写真を撮影しました。



## 春の全国交通安全運動 出動式が行われました

4月6日に双葉警察署で、平成29年春の全国交通安全運動出動式が行われました。

■運動スローガン■

おともだち むこうにいても みぎひだり

■年間スローガン■

みんながね ルール守れば ほら笑顔



がんばれ!  
なみえ

# まちの話題

皆さまの身の回りにある楽しい話題、  
いっふう変わった話題などの情報を募集しています。

問 企画財政課情報統計係  
TEL 0240(34)0241

## 消防団幹部に辞令が 交付されました

4月9日、浪江町地域スポーツセンターで浪江町消防団の幹部辞令交付式を行いました。

新たに役場職員等で構成する第7分団を新設し、地域の防災力向上につなげていきます。



# 防 犯見守り隊の委嘱状交付式 を行いました



3月24日・4月4日、浪江町役場本庁舎で平成29年度の防犯見守り隊員に町長より委嘱状が手渡されました。

隊員総数は52名となり、今年度からは活動を20時まで拡大し、住民の安心・安全につなげていきます。



# 赤 宇木地区記録誌を 作成しました

一般財団法人自治総合センターは、宝くじの社会貢献広報事業で宝くじの受託事業収入を財源として、コミュニティ助成事業を実施しています。

その宝くじ助成金を活用し、赤宇木地区記録誌作成実行委員会が、地区の記憶・記録を後世に残そうという想いから、「赤宇木地区記録誌百年後の子孫たちへ」を作成しました。記録誌には、赤宇木地区の歴史、文化、四季折々の風景など地域の営みが掲載されています。



3月21日 鈴木利尾様

# ありがとう ございました

みなさまから義援金等の支援をお届けいただきました。



3月24日 多古町立多古第一小学校  
PTA有志一同様



3月29日 NPO法人 スポーツエイド・  
ジャパン 代表理事 舘山 誠様



3月30日 AGCエレクトロニクス  
株式会社様



3月31日 あぶくま信用金庫様



4月3日 松永窯 松永和生様



4月5日 双葉地方森林組合様  
農林中央金庫様



4月10日 (有)鈴木新聞舗 鈴木裕次郎様